

特定非営利活動法人さっぽろ円山動物園サポートクラブ 設立趣旨書

1 趣 旨

札幌市円山動物園は、2019年3月に策定した「札幌市円山動物園基本方針『ビジョン2050』」において、「命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園」を目指し、飼育動物の動物福祉を根幹に、保全、教育や調査・研究、リ・クリエーションに力を入れて取り組んでおり、「さっぽろ円山動物園サポートクラブ」は市民や事業者・団体からの寄付金等により、その活動を支援してきました。

一方、近年、気候変動や生物多様性の損失などの環境問題は地球規模の喫緊の課題となっており、その課題解決のためには全ての人類が一丸となって我々の世界を変革し、持続可能な社会の形成に向けて動く必要があります。

この豊かな自然環境に恵まれた北海道においても、気候変動等による自然災害の増加や野生動物による農業被害、人口減少や少子高齢化に伴う地域経済の衰退など、多くの課題に直面しています。

これらの課題解決に向けては、地域住民が国際的な視野を持って、地球環境問題を自分ごととしてとらえ、地域内外の課題解決に取り組む視点が重要となっており、この度設立する法人においても同様に取り組む必要がありますが、札幌市円山動物園及び当団体を取り巻く環境の変化等を踏まえ、これまでのように任意団体としての活動を継続した場合に安定した事業の実施や事業の拡大が難しいこと、市民や事業者、行政等との連携をさらに強化し、法人としての社会的信用を高めて寄附文化の醸成に寄与し、持続可能な社会の形成に向けた取組に貢献していくためには、任意団体を法人化することが必須であると判断しました。

これまで、当団体は札幌市円山動物園における取組を通じて環境教育等の支援活動を行ってきました。今後は、市民・事業者・行政と一体となって動物園における飼育動物の動物福祉向上や調査研究、来園者へのホスピタリティ向上等に関する取組を支援するとともに、国内外の動物園・水族館等のネットワークの形成や資金調達、動物園等を拠点とした教育活動や普及啓発活動、国内外における生物の域内・域外保全活動等の支援、気候変動や生物多様性等の環境問題に関するステークホルダーの意識向上や行動変容に向けた取組の支援、人材育成や海外支援及び寄附文化の醸成に資する取組等を行うことで、地球全体の持続可能な発展に貢献することを目的として、特定非営利活動法人さっぽろ円山動物園サポートクラブを設立します。

2 申請に至るまでの経過

- 2015年4月1日 2008年から札幌市円山動物園で実施していた、飼育動物（個体）への支援を募る「アニマルファミリー制度」に代わる体制として、市民からの寄付金、企業・団体からの協賛金などにより、同園における環境教育活動支援や飼育動物の飼育環境充実に寄与することを目的とする任意団体「さっぽろ円山動物園サポートクラブ」を設立。市内外からの個人や企業等からの寄附により、同園の支援を継続して実施。
- 2023年11月30日 今後の活動の拡大等を見据え、法人化について検討を開始。
- 2024年10月30日 総会において、さっぽろ円山動物園サポートクラブの特定非営利活動法人への移行について決定。
- 2025年2月18日 設立総会開催

2025年2月18日

特定非営利活動法人さっぽろ円山動物園サポートクラブ
設立代表者 札幌市東区北18条東16丁目4番1-501号
氏名 金子 正美

